

呉 羽 地区ふるさと活性化事業概要報告書

事業名: ①呉羽の歴史を「学ぶ・考える・楽しむ」会
②暮らそう！音があふれる豊かな呉羽で

◆事業の目的とその内容

富山県埋蔵文化センターより講師を招き、呉羽の遺跡を学ぶ会を開催する。また、呉羽山の民俗民芸村を紹介し、土人形絵付けを体験する。

地元にある桐朋学園の学生によるコンサートを開催し、身近で音楽に触れ合う機会を作る。高齢化が進む地域の中で、子どもから高齢者の年齢の垣根を越えて、気楽に参加できる楽しみの場を作り、呉羽地区の活性化を図る。

呉羽地区にある小竹貝塚、県埋蔵文化財センターや桐朋学園など、文化遺跡や文化施設を有効に活用し、地域の持つ文化力を高め、いきいきとした地域作りに貢献した。

◆事業の流れ

実施日	活動名	講師・助言者等の職・氏名	参加人数(うち子ども)
9月17日(土)	講演会 「もっと知りたい小竹貝塚と呉羽の歴史」	富山県埋蔵文化財センター 企画調整課課長 境 洋子氏	24名(0名)
10月23日(火)	くれは楽々クラシック	桐朋アカデミー 弦楽四重奏団	97名(22名)
11月6日(日)	土人形絵付け体験	とやま土人形伝承会	21名(12名)

◆事業の様子

- ☆ 富山県埋蔵文化センターより講師を招き、小竹貝塚を学ぶ講演会や実際に発掘された出土品を見て解説を受け、小竹貝塚についてより深く知ることができた。
- ☆ 地元にある桐朋学園の学生によるミニコンサートを開催し、気軽に美しい音楽に触れ合う機会を作った。
- ☆ 文化祭において呉羽山にある民俗民芸村の土人形工房の絵付け体験を行った。

◆事業の成果など

「呉羽をもっと楽しもう」というテーマのもと、呉羽だよりとチラシを通して幅広く参加者を募集した。呉羽地区にある遺跡や小竹貝塚について、ゲノム解析の現状や発掘の状況などを学ぶことができた。

桐朋学園の方々の素敵な演奏に魅了され、子どもたちを含め多くの方々に足を運んでいただき、音楽を身近で感じる事ができた。絵付け体験も行い、呉羽地区により親しむを持ってもらうことができた。

